

# 英語多読をはじめる

英語多読とは、**自分のレベルにあったやさしい英語の本を大量に読むことで英語力を身につける学習法**です。語学学習には、継続が不可欠です。電車の中や寝る前の10分など隙間時間を利用して生活の中に読書の時間を組み込みましょう。

## 多読三原則

英語多読を長く楽しく続けるには、3つのコツがあります。



### 1 「辞書は引かない」

多読の大事なポイントは、英文を和訳するのではなく、英語を英語のまま理解するようにすることです。文法を頼りに辞書を引きながらでは時間がかかり、読書を楽しむことができません。辞書を引かなくても読めるやさしい本から始めます。

### 2 「分からないところは飛ばす」

「100%理解」にこだわる必要はありません。分からないところは読み飛ばし、分かるところをつなぎ合わせて意味を理解していきましょう。話の内容は、70~80%つかめれば大丈夫です。飛ばし読みをして、内容がつかめないならば、もう少しやさしい本から始めます。

### 3 「つまらなくなったらやめる」

面白くない、内容が分からないと思ったら別の本にチャレンジします。“読書を楽しめているか”の感覚が大切です。読むのに時間がかかりすぎる、飛ばす部分が多い本は自分のレベルにあっていない可能性も、無理して難しい本を読まないことも大切です。

## どんな本を読めばいい？

### ・多読に適したリーダー

#### GR(Graded Readers)

英語学習者向けに段階別に作られたリーダーです。レベルごとに使用語彙やテキストの長さには制限があり、文法も基本の現在形から徐々に複雑なものへとレベルが上がるようになっています。



#### LR(Leveled Readers)

英語圏の子ども向けの段階別リーダーです。英語独特の英語らしい表現に触れることができます。



### ・本の難易度

#### YL(Yomiyasusa Level)

多読をスムーズに進めるためには難易度の目安が必要です。GR・LRは、レベル別になっていますが、それぞれ性質が違います。また、出版社ごとにレベル分けが異なるため、難易度の比較が難しいです。

YLとは、SSS 英語多読研究会で定めた本の読みやすさを評価する共通の基準です。実際に多読している人の声を集約し、「**日本人学習者にとっての本の読みやすさ**」をYL0.0~10.0の数値で表しています。

YLは、平均的英語多読学習者を想定して設定されています。同じジャンル、同じタイプの本同士の相対的難易度をうまく表していますが、本の内容と読者の興味によって読みやすさは変わりますので、自分にとって最適のレベルとジャンルを見つけてください。

Easy

Difficult

Easy

時には、難しい本で自分の level の確認を！  
時には、やさしい本で読む speed を上げる！  
メリハリをつけて!!

## どんな効果がある？

英語多読では、日本語に訳すことなく英語で理解することで、英語脳の回路を作ることができます。最初は、訳しながら読んでしまうかもしれませんが、**英語をそのまま左から右に語順通りに読んで内容を把握していくことを心がけてください。**どうしても和訳の癖が気になるならば、CDなどで音声を聞きながらテキストを読む方法もあります。



### 読書量の大体の目安と効果

- ・30万語で和訳の癖がなくなり、簡単な英語なら和訳せず読めるようになる。
- ・100万語で1時間ほどの読書量を和訳することなく読むことができる、文法の基本も自然に身につく。
- ・200万語で英英辞書を使うことが苦にならなくなる。
- ・300万語でTOEICのテストで10ヵ月留学した人と同程度の点数がとれる。とされています。

図書館 HP や多読コーナーに図書リストを用意しています。読書記録や感想、語彙数のカウントにご利用ください。

## 配架場所

### 草薙図書館 1階



### 小鹿図書館



## 電子ブックを読む

### 電子ブック（図書館 HP > 電子資料 > 電子ブック）

英語多読用図書は、電子ブックでも読むことができます。

電子ブックには、「Maruzen eBook Library」と「EBSCOhost eBook Collection」があります。それぞれ読める本が違いますので自分の読みやすいシリーズを探して下さい。シリーズの紹介や読みやすさ level は、電子ブックのページ下「電子ブックタイトル一覧」にあります。

電子ブックの使い方は、「1シートでわかる『電子ブックを読もう』」を参考にしてください。

電子ブックの利用方法	
施設案内	
ご利用案内	「Maruzen eBook Library」と「EBSCOhost eBook Collection」の2つの配信プラットフォームで提供している電子ブックを、学内LANに接続している端末から利用することができます（同時アクセス1名）。
蔵書検索 (OPAC)	※同時アクセス1名のため、利用中のタイトルを他の人が利用することはできません。 ※学外から閲覧する場合は事前にリモートアクセスの手続きをする必要があります。 一手続きの詳細は、「学外からのリモートアクセス申込」のページを参照してください。
電子資料	
電子ブック	
電子ジャーナル	
データベース	
機関リポジトリ	
資料リスト	



### 参考文献

- ・古川昭夫, 神田みなみ編著『英語多読完全ブックガイド』4 訂版 コスモピア 2013
- ・『多聴多読マガジン』コスモピア
- ・SSS 英語多読研究会 Web サイト